

科目名

情報科教育法 I

Teaching Method of Information processing I

3年 前期 2単位

青木 振一

概要

現代社会は、急速な技術革新の時代であり、高度情報化の時代である。産業構造・就業構造の変化が激しいこのような時代に適切に対応するためには、基礎的な知識・技術及び情報活用能力を身につけることが必要である。国際社会を広く展望し、情報科を担当する教員として必要な基礎資質を形成すると共に、情報科の学習指導法について理解を深める。なお実習などの体験学習、問題解決能力・コミュニケーション能力などの課題解決学習を重視する。

目標

情報科教育法 I では情報教育の目的と役割および学習指導要項についての理解を深める。

授業計画

- 1 情報社会の発展と情報化
- 2 情報教育の目的と役割
- 3 情報教育の変遷
- 4 情報教科の構成と情報科目の構成
- 5 学習の指導要領（各種科目の目標）
- 6 学習の指導要領（講義の指導内容・方法）
- 7 学習の指導要領（実習の指導内容）
- 8 学習の指導要領（実習の指導方法）

授業方法

- (1) 各時間ごとのテキストを用意し、講義・質問を行い、意識の高揚を図る。
- (2) 意識調査等を随時行い、望ましい情報教育を目指した講義を進める。

評価方法

定期試験、単元終了後のレポート、出席を総合して判定する。

教材

解説情報 編 情報科教育法、大岩 元 他著 オーム社
文部科学省検定教科書 情報A、情報B、情報C

- (1) 高等学校学習指導要領。
- (2) 必要に応じてプリントを配布する。

履修上の注意

毎時間の出席については、とくに重視する。